



はぐ便り

2024年
7月号
【第112号】

子どものやる気を引き出すには

子育てをしていると、お出掛け前で急いでいるのに準備が進まない、遊びに集中して、今してほしいことをしてくれない...など、日々の小さな悩み事は尽きません。「なんで〜!？」と思うことは「かりです」。
そんな時、子どもたちはどんな事を考えているのか? その時期の子どもたちの発達や状況、気持ちを踏まえた上で「使えるテクニック」や「声掛け」を今月は集めてみました。

身支度・時間の管理

- 丁寧にやっているから時間がかかる
- 前もって、「これから〇〇するよ!」と計画を伝える。
着替えをしない: あらかじめ2〜3着の服を用意
→「どれにする!？」と選択させる。
時間を守らない: 「長い針が〇になったら、△をしよう! 時計の針と競争ね!」
夜寝ない: 「おもちゃも寝る時間だよー!」

あいさつ

- はずかしい... 苦手...
- 「今日はあつあつな声で、あいさつしてみよう!」
→(言えたら)「お友だちも喜んでくれたね!」

片付け・お手伝い

- 指示をたくさん言われても、処理できず、動かない。
- 頼み事がある時に、短く区切って伝える。
- 「おんがを片付けよう!」
→「終わったら...」「次は、パズルね!」
→「お片付けじゃ〜ず!」

食事(集中しない、好き嫌い)

- 食事の時間が長いので、集中力が切れた。
苦手な食べ物: 調理前の状態を教える。
季節の食材に角虫れる。
頑張った食べた後の「あと一口」はとて多量...
→チャレンジしたことをほめる

トイレトレーニング

- トイレがこわい、一人で行くのがさびしい...
- トイレをかわいく、楽しい場所に
- カレンダーにご褒美シールを貼る
→貯まったら更に大きなご褒美でステップアップ!
- 定期的なトイレの声掛けと「モゾモゾ」を見逃さない。
- なかなか進まない時は、一旦中止して、再チャレンジ!
- 周りとは比較しない、お子さんのペースで!

勉強・習い事

- 今、気分ではない。疲れている。
- 習い事の教室の前で泣き出す
→「レッスンが終わったら、おやつにしよう!」

学習習慣は強制せず、1日5分からの習慣づけが大事です。低学年のうち、お子さんが好きなこと(お絵描き、迷路、謎解き...)をしている状態を習慣づけることから始めましょう。

幼児期には、たっぷり甘えさせること、スキンシップも大事です。この「はぐ便り」のタイトルのように、「はぐ」したら前に進むこともあります。また、どの場面でも、「ほら、〇〇できたね!」とできたことを言葉にすると自己肯定感がUPして、ポジティブになり、自信を持ってくれます。失敗してもチャレンジして乗り越えたことをほめる、集中できない、継続できないことがあっても、色々なことに興味・関心があると前向きにとらえましょう。
育児情報は、アップデートされていくものです。ここで書いたテクニックや、ネットの情報、本の記事の全部がお子さんに当てはまるわけではありません。皆さんのご家族の生活スタイルや環境、お子さんの性格や特性に合わせ試してみ、合っていたら「ラッキー★」な気持ちで取り入れてみてください。



暑いのに
おんぶも抱っこも
容赦なし

